

2019年6月13日（木）

豊田スタジアムのピッチ照明設備改修工事を構築

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）は、豊田市様から豊田スタジアムのピッチ照明設備改修工事を受注し、このたび工事を完成しましたのでお知らせします。

■豊田スタジアムの概要

豊田スタジアム（豊田市）は、2001年に建築家 黒川紀章氏の設計により建設された、天然芝のピッチと45,000席を有する国内最大級の球技専用競技場であり、名古屋グランパスのホームグラウンドとして利用されています。

また、2019年開催のラグビーワールドカップの会場として利用される予定になっています。

■ピッチ照明設備工事の概要

シグニファイ社のスポーツ・エンターテインメント向けの照明IoTプラットフォーム「Interact Sports」を導入しました。

新たに設置したスタジアム照明は、さまざまな国際的スポーツ大会の放送基準を満たす照明精度であることから、世界のおよそ100箇所のスタジアムでの導入実績があります。

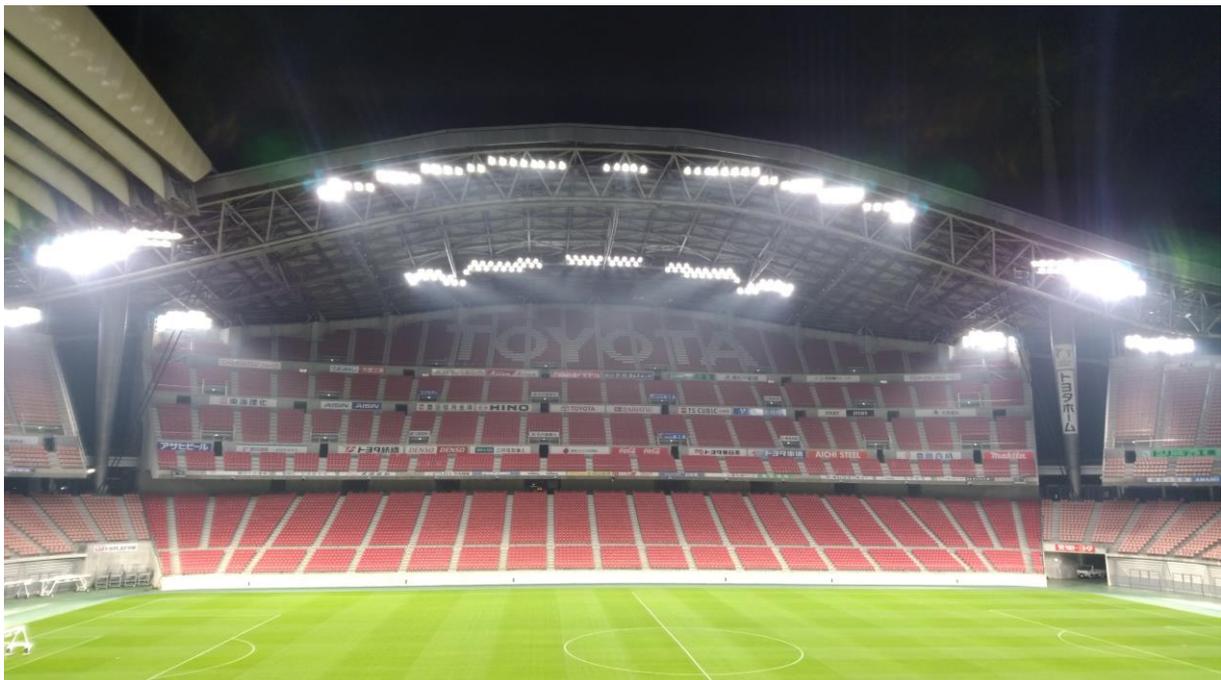
今回導入したLED照明は、シグニファイ社製ハイエンドスタジアム照明「Philips ArenaVision LED」であり、当社はシグニファイジャパン社の認定工事会社として、同社のご協力のもと、工事を実施しました。

「Philips ArenaVision LED」は、7種類の異なる配光特性を効果的に組み合わせることで、眩しさを低減しつつ効率的に均斉度の高い照明環境を創出でき、選手がプレイしやすい光環境に加え高解像度放送に最適な光環境を実現しています。

DMX制御により、LED器具を1台毎にプログラミングが可能のため、これまでの水銀灯では実現できなかった多彩な演出で、入場シーンや得点シーン、ハーフタイムなどのイベントを、より一層盛り上げることができます。

施工にあたっては、設置したLED器具が照明設計通りのポイントを照らすよう角度調整自動判定システムを活用し、また、照度測定では、自走ロボットによる照度測定システムを活用する等、より効率的で確実な測定方法を採用し、Jリーグのオフシーズンという限られた工期中での改修を終えることができました。

■施工状況





施工風景と照度測定で利用した自走ロボット



電話でのお問い合わせ先
ICT ソリューション事業本部 ソリューション営業本部 第三営業部門
電話 03-5778-1193
受付時間：平日 9 時～17 時 30 分